

昭和30～40年代の学校について

江戸川区立小岩図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 小学校4年生
2	実施時期 : 2011年9月13日(水)
3	概要 : 図書館について啓蒙し、本の分類や調べ学習について知ってもらう。その上で、上記のテーマについてブックトークをし、興味、関心を持ってもらう。
4	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本の並び方(十進分類法)のきまり ② ○×クイズ(テレビ、携帯電話など、昭和30年代にあったかどうか) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ③ 昭和30年代の値段あてクイズ ④ ブックトーク(昭和30～40年代の子どもと学校生活) ⑤ 紙芝居の実演(黄金バット) ⑥ ブックトーク(紙芝居屋や、昭和30～40年代を見て知れる本を数冊)
5	<p>参加者の反応</p> <p>小学校4年生ということで心配していたが、とても盛り上がり熱心に参加していた。身近な学校生活がテーマだったので、非常に関心が高かった。新聞紙で作ったグローブを見せたり、「黄金バット」の紙芝居を実演したり、工夫することで興味を持てたと思う。「またやってほしい」と先生からも大変好評だった。</p>
6	<p>連携した諸機関</p> <p>江戸川区立南小岩第二小学校(学校からの依頼)</p>